

## 平成29年第4回議会定例会（諸般の報告）

開会に当たり、諸般の報告を申し上げます。

はじめに、「全国瞬時警報システム（Ｊアラート）全国一斉情報伝達訓練における放送での不具合」について申し上げます。

11月14日午前11時にＪアラートによる全国一斉情報伝達訓練が例年通り実施されましたが、本市の防災行政無線放送において、放送の一部が流れない結果となりました。

今回の訓練結果は、千葉県を通して報道発表されましたので、11月15日付の産経新聞及び千葉日報で記事が掲載され、ご心配をおかけいたしました。

具体的な内容につきましては、最初に放送で流れる予定であった「チャイム」とその後3回繰り返して放送される、「これは、Ｊアラートのテストです。」という放送の1回目が流れずに、2回目の途中から流れたというもので、その後は正常に放送されました。

原因は、Ｊアラートの自動起動装置と防災行政無線操作卓の基盤を繋ぐ配線の接続端子に接点不良箇所があり、これにより、Ｊアラート自動起動装置は正常動作したが、防災無線操作卓側からの応答出力がうまくいかなかったものと判明しております。

すぐに、不具合箇所を是正し、動作テストを行い動作異常がないことを確認しており、現在は、システムに異常はありません。

今後は、保守点検時に基盤の接続端子の接点洗浄作業を追加で行うとともに、継続して毎月のＪアラートの導通確認を行うこととし、二度とこのようなことがないよう万全を期してまいります。

次に「親元同居近居支援事業」について申し上げます。

親元同居近居支援事業は、若い世代と高齢者世代が互いに支え合うことで子育てや介護など生活の様々な場面で生活の安心感や満足度を向上させること、子世帯の定住により地域の活性化を図ることなどを目的に昨年度から実施しておりますが、初年度となる平成28年度は

13件、2年目の本年度は既に23件の申請があり、合計36家族が親の住むまたは生まれ育った白井市に移住されました。

本事業は白井市第5次総合計画前期実施計画のまちづくり重点戦略事業、白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略の事業に位置付けられており、今後も、本市が都心に近い位置にありながら緑が多く住みやすい環境であることを市内外にアピールし、若い世代の定住を促進することにより地域の活性化につなげていきたいと考えております。

次に、「行政経営改革実施計画（案）の策定」について申し上げます。

平成29年第3回議会定例会でお伝えしたとおり、市では、行政経営指針で定めている38の取組内容をさらに具体化するために、平成30年度から平成32年度までを計画期間とする「行政経営改革実施計画」の策定作業を進めており、この度、行政経営改革実施計画の計画（案）が取りまとまりました。

この計画（案）について、市民の皆様から意見を公募するため、本年12月1日から22日までパブリックコメントを実施いたします。

計画（案）では、行政経営指針で定めている取組事項を具体化した52項目に取り組むこととしており、計画策定時点で約4億円の効果額を見込んでおります。

パブリックコメントでいただいた意見については、行政経営改革審議会において対応を検討した上で、平成30年2月の行政経営戦略会議で計画決定する予定です。

市は、平成30年度からこの行政経営改革実施計画に位置付けられた取り組みを着実に実施することで、行政経営指針に基づく行政経営改革を推進してまいります。

最後に「福島県伊達市との友好交流協定の締結」について申し上げます。

10月26日、福島県伊達市の仁志田市長、安藤市議会議長をはじめ、伊達市職員の方々に白井市へお越しいただき、「友好交流協定」

を締結しましたのでご報告いたします。

白井市では、オーストラリアキャンパスピ市につづいて、伊達市が2市目の友好交流都市となり、国内では、はじめてとなります。

当日は、友好交流協定への署名、市旗・記念品の交換を行ったほか、調印式の終了後には、伊達市から記念品としていただいた「ハナモモ」の苗木の記念植樹を行いました。

「ハナモモ」の苗木については、市役所敷地内と白井総合公園に植樹しております。

今後につきましては、友好交流都市として、産業や経済、防災、文化、教育等の各分野において、双方の特性を生かしながら交流を積極的に推進し、これまで培ってきた友好関係をさらに深めていくため、具体的な交流について協議してきたいと考えております。

以上で諸般の報告を終わります。